

いしかわ農業法人だより

Ishikawa Agriculture Corporation Magazine

発行 石川県農業法人協会 いしかわ農業総合支援機構内 発行人 佛田利弘
〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目20 Tel076-225-7621 Fax076-225-7622



(有)かわにの河二利勝氏が 石川県代表に選出

先般行われた若手経営者コンクール（主催：日本農業法人協会）の石川県代表選考会において、(有)かわにの河二利勝氏が県代表となりました。河二氏は県内の高校を卒業後、(有)かわにへ就農し現在は営農マネージャーとして現場にて奮闘しています。河二氏は「20年後の自分と会社を考える良い機会となった。大先輩の方々の前での発表は大変貴重な経験となり代表に選出されたことは大きな自信となった。北信越選考会でも石川の代表として勝ち上がりたい。皆様には心の中でもいいので応援していただければ幸いです。」と次なるステージに向け意気込みを見せておりました。また同社の河二敏雄社長は「素直に嬉しかった。自分の20年後のビジョンを自分の口で言えるということは素晴らしいこと。北信越での選考会でも、勝ち負けではなく、自信を持ってプレゼンしてきて欲しい。」と後継者の成長に喜びを感じており、当協会の佛田会長からは「皆様の厳選なる評価の結果であり、今後は石川県ならではの経営者同士が切磋琢磨しながら経営発展し続けることを活かしたプレゼンを期待したい。」と内容の更なるブラッシュアップと期待を込めたコメントを頂きました。河二氏は1月20日(月)に行われる北信越会長会議にてプレゼンし再度選出されれば、3月5日(木)に行われる若手経営者コンクールに出場することとなります。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます
皆様には輝かしい新春をお迎えのことと
心からお慶び申し上げます

迎春

謹 賀 新 年

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、石川県農業法人皆様、関係者並びに関係機関の皆様には、大変お世話になり、当協会の活動に何かとご尽力頂き、ありがとうございました。
今年は、令和時代初めての新年を健やかに迎えのことに存じます。
昨年は、災害の多い年でありましたし、農産物への被害も石川県内において少なくなく、また、豚コレラ等の発生でのワクチン対応など、対応に追われる年でした。

石川県農業法人協会は、昨年6月に新体制となり、地区での活動を皮切りに、現場での課題の収集と意見交換を実施し、その意見に基づき、政策活動、食育活動に取り組みました。新たに設置された技術経営委員会では、GAPの取組や生産資材に関連するセミナー開催の準備をしてきました。政策関連では、農水省経営局経営政策課の依田課長にお越し頂き、農地集積の主事業である中間管理事業の実質化について、意見交換をしました。また、石川県農業会議会長の山田修路参議院議員には、農業情勢についてご講演を頂くなど、政策のあり方について取り組んできました。

本年は、当協会初めての賀詞交換会を1月15日に開催予定です。新年の賀詞交換と会員同士や賛助会員、アグリサポート会員、北陸農政局、石川県、JAグループなど関係機関や各会員の取引先などがご参加頂く予定です。賀詞交換会に先立ち、農水省本省からの窪山収入保険室長、全国農業共済組合連合会の高橋統括参事にお越し頂き、収入保険の勉強会を開催します。いずれも、有意義な会となると思いますので、多くの方々のご参加をお願いします。

本年は、本当に皆さんの経営と従業員の皆様、そして地域の関係者の方々が、お元気で地域活動と農業生産にご活躍されんことを心より祈念申し上げます。当協会の活動にもご参加頂き、多くのご意見を頂くことを楽しみにお待ちしております。

令和2年元旦

石川県農業法人協会
会長 佛田利弘

～お知らせ～

1 2月2日（月）石川県庁内において第4回理事会及び日本政策金融公庫様との意見交換会を開催しました。理事会では今後の活動内容について検討を行い、1月15日（水）に開催予定の収入保険制度に係る勉強会及び賀詞交換会について、引き続き会員及び関係者に周知していくこととしました。

各委員会からの活動状況について、組織活性化委員会からは、今年度より地区活動として県内各5地区で開催した情報交換会を継続的に開催し、各種委員会との連携や異業種との交流についても今後検討していくこととしました。

また、新規アグリサポート会員について、新たに興能信用金庫様の入会が満場一致で承認されました。

日本政策金融公庫様との意見交換会では、今後、民間金融機関との連携や事業承継支援の取組みに力を入れていくことや、事業性評価融資の取組みについて情報提供いただきました。会員からは、より経営の自由度を上げた新たな融資を求める声や個別のケースにおいてどのような資金を活用すべきかなど活発な議論が展開されました。



意見交換会時の様子



写真は選考会時の様子（石川県庁内にて）

賀詞交換会のご案内

令和2年1月15日（水）16時から
マリエールオークパイン金沢にて、当協
会主催の賀詞交歓会を開催致します。
関係団体、企業の皆様に当協会の活動の
周知を行い、連携による相乗効果を高め
ていくこと及び農業法人同士や関係者との
交流・親睦を深めることを目的として
おります。

現在も参加者募集中ですので、会員の皆様におかれましては、是非ご参加の程宜しくお願い致します。



興能信用金庫様が新たにアグリサポート会員に加入



写真左から藪下専務、神座理事長、角海常務

1 2月2日(月)に開かれた第4回理事会において興能信用金庫(本店:能登町宇出津)様が新たにアグリサポート会員になることが満場一致で承認されました。

当金庫から「農業事業者の皆様と情報交換を通じて親交を図り、協会活動のサポートや地域農業の発展に寄与して参りたいです。」とコメントしておりました。

興能信用金庫様の入会で当協会のアグリサポート会員が10社、賛助会員が6社となりました。皆様今後とも引き続き宜しくお願い致します。

アグリサポート会員及び収入保険制度に関する勉強会に是非ご参加下さい

令和2年1月15日(月)にアグリサポート会員との勉強会及び収入保険制度に関する勉強会が12時から金沢勤労者プラザにて開催されます。アグリサポート会員からはJA三井リース様による「リースを活用した設備投資について」、渡辺パイプ様からは「災害対策と強いハウスについて」、収入保険制度の勉強会については、農林水産省農業収入保険室長の窪山富士男様による「収入保険制度改革について」全国農業共済組合統括参事の高橋仁志様による「農業経営の収入保険とリスクについて」と大変盛沢山な内容となっております。皆様のご参加の程何卒宜しくお願い致します。



～各委員会よりお知らせ～

政策提言委員会（委員長：佛田利弘委員長）

令和元年は、農業経営の根本の課題である農地の集積について、政府が進めている農地中間管理事業の実質化について、１０月１１日に農林水産省経営局経営政策課の依田學課長にお越し頂き、意見交換させていただきました。意見交換には、経営政策課の御村課長補佐や北陸農政局の小林次長や関係者の方々、石川県庁の方々にもお越し頂き、忌憚のない意見交換を行い、中間管理事業の現場での課題など議論をし、政策への反映を要望しました。また、石川県農業会議会長の山田修路参議院議員には、農業情勢についてご講演を頂きました。石川県農業にとっての課題や進むべき方向について、ご示唆を頂きました。

令和２年は、１月１５日（水）１６時から開催される賀詞交換会に先立ち、収入保険の制度や制度改革の状況、他県での取組状況の実例などを交え、農水省経営局保険課窪山富士男農業経営収入保険室長と全国農業共済組合連合会の高橋仁志統括参事にお越し頂き、収入保険の加入メリットやリスク管理について幅広く意見交換を実施する予定です。石川県農業法人協会では、それぞれの経営に役立つ政策の理解と、国・県やJAグループ等と意見交換を進めることで、現場の課題や政策のあり方を提言して参りたいと考えていますので、会員の皆様から何なりとご意見等をいただきたくお願いします。



組織活性化委員会（委員長：宮崎数馬委員長）

組織活性化委員会では、今年度より地区活動として県内各５地区で情報交換会を実施致しました。先般行われた理事会にて各地区選出の理事からの報告を受け県内全地域における多種多様な課題等を共有することができました。皆様におかれましては大変お忙しい中、ご参加頂き誠に有難うございました。

さて、令和２年を迎えるにあたり、先の情報交換会で抽出された課題に対し、改善又は解決に繋げていきたいと考えております。その為にも会員間の連携をより強化し、農業を通じた明るい地域社会の創造や協会全体の更なる活性化へと発展させたく思っております。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

技術経営委員会（委員長：濱田栄治委員長）

新年明けましておめでとうございます。

技術経営委員会では２月６日（木）に協会主催のセミナーを下記の内容で開催予定しています。

- ・新商品を含む農薬肥料に関するセミナー
- ・農業機械に関するセミナー
- ・GAPに関するセミナー
- ・作業機付きトラクタの行動走行に関するセミナー

会員の皆様はもちろん、社員様やお仲間をお誘いあわせの上、是非ご参加頂ければ幸いです。また、当委員会として肥料農薬の実証圃の設置を検討しております。当委員会にご意見ございましたらお声をお聞かせください。

※セミナーの内容は一部変更する場合がございます。予めご了承下さい。



食農連携委員会（委員長：林浩陽委員長）

令和２年を迎えるに当たり食農委員会では、米作り体験学習を希望の幼稚園を受け入れ可能な農業法人を募集します。現在、要望のあるのは、金沢市内の２園です。幼稚園バスがあるので機動力は、ありますがなるべく近いと助かります。新年度を迎えるまでに紹介したいと考えておりますので２月まで待っても応募が無い場合は、直接お願いに上がるかもしれませんがその時は、温かい対応をお願いします。

そしてSDG s（持続可能な開発目標）について一緒に学んで行こうと考えています。最近よく耳にする「SDG s（持続可能な開発目標）」という言葉。しかし私を含めてよく理解していない方が多いと思います。機会があればセミナーを開催します。しかしまず、この法人便りで発信して行きます。令和元年に大きな問題になった豚コレラに関しては、今後も引き続き推移を見守りながら報告をして行きますのでよろしくお願いします。

本だより配布対象 会員・賛助会員・アグリサポート会員・各関係機関の皆様へ

「いしかわ農業法人だより」のメール配信を希望する方は、協会事務局の（南出、島田、吉田）までご連絡お願い致します。

e-mail：syogo-y@inz.or.jp